

第3期草津市スポーツ推進計画（案）に関する  
パブリックコメントの実施結果について

実施結果

- 1 実施期間 令和8年1月5日（月）から令和8年2月4日（水）まで
- 2 意見者数 2人
- 3 意見総数 5件（意見の内容および意見に対する市の考え方は別添のとおり）
- 4 意見の反映件数 0件

周知方法

広報媒体	実績
計画案(本編および概要版)の配架	配架場所（閲覧者数） <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進課 (0人)</li> <li>・情報公開室 (0人)</li> <li>・草津市立図書館 (0人)</li> <li>・南草津図書館 (0人)</li> <li>・総合体育館 (0人)</li> <li>・ふれあい体育館、運動場 (0人)</li> <li>・野村運動公園（YMI Tアリーナ） (7人)</li> <li>・武道館 (1人)</li> <li>・三ツ池運動公園 (0人)</li> <li>・インフロニア草津アクアティクスセンター (0人)</li> </ul>
資料送付	送付数：0件（団体0件、個人0件）
個別説明	説明数：4件（草津市スポーツ協会、くさつ健・交クラブ、草津市体育振興会連絡協議会、草津市スポーツ推進委員協議会）
市ホームページ	アクセス数：61件（2月5日確認）
広報紙	1月15日号
資料提供	1月5日付け
その他（SNS）	1月5日付け（X、LINE、Facebook）

概要版のみ掲示施設

- ・各地域まちづくりセンター（14箇所）
- ・アーバンデザインセンターみなくさ
- ・各隣保館（4箇所）
- ・市民総合交流センター

結果公表

- ・市ホームページ 3月27日から
- ・広報紙 4月1日号
- ・資料配架 3月27日～9月27日  
 配架場所
  - ・スポーツ推進課
  - ・情報公開室
  - ・草津市立図書館
  - ・南草津図書館
  - ・総合体育館
  - ・ふれあい体育館、運動場
  - ・野村運動公園（YMI Tアリーナ）
  - ・武道館
  - ・三ツ池運動公園
  - ・インフロニア草津アクアティクスセンター

第3期草津市スポーツ推進計画（案）

提出された意見と市の考え方

No	意見（ページ数）	市の考え方
1	<p>（P 5）</p> <p>e スポーツの取り扱いについて、一概にe スポーツいえど、様々な分類ができます。2023年に初開催されたe スポーツオリンピックゲームズでは、実際のスポーツが電子ゲーム化した競技が行われました。他のシューティングゲームや格闘ゲームなどとは違い、リアルスポーツがe スポーツ化したものは、元々のリアルスポーツの競技普及やルールの理解にも繋がります。リアルスポーツに近いe スポーツをピックアップするだけでも、スポーツ振興としてのe スポーツの扱いは変わると考えます。</p>	<p>スポーツ基本法第10条において、市の計画は国のスポーツ基本計画を参酌して策定するものとされていますが、国・滋賀県の現行計画にはe スポーツが位置付けられていないことから、本計画への位置付けにつきましては、令和11年度に想定している中間見直し時に国・滋賀県の次期計画の内容を踏まえながら検討するものとしています。</p> <p>一方で、御意見のとおり、e スポーツには様々な分類がありますことから、計画案（P 5）にも記載しておりますが、各施策を実施する中で、より効果が期待できる場面では、e スポーツの普及啓発等を促進していきたいと考えています。</p>
2	<p>（P 60）</p> <p>ライフステージに合わせた健康づくりの推進について、主な取り組み一覧が記載されていますが、それぞれの取り組みの担当課がバラバラで、スポーツ推進課の担当が少ないことに疑問を覚えました。同じ目的をもっている中で、担当課が分かれていると、効率面での部分や、他の課との連携ができていないのかという部分が気になりました。</p>	<p>当該施策については、計画案（P 60）に記載のとおり、年齢や性別による興味・関心等に応じた健康づくり事業を推進しようとするものであり、分野が多岐にわたることから、それぞれの専門分野の担当課が実施し、スポーツ関係団体も含めて相互間で連携することで、効率的・効果的な取組が実施できるものと考えています。</p>

<p style="text-align: center;">3</p>	<p>(P72)</p> <p>第3期計画のうち、課題感を持った点として、運動・スポーツの情報の発信が挙げられる。計画では、広報誌やホームページ、SNSなどの多様なメディアを利用して情報を発信すると示されているが、草津市の公式インスタグラムは2026年1月現在375人と、影響力がほとんど無い状況にある。また、2025年に開催された国スポ・障スポの草津市実行委員会のアカウントは2,373人で、非日常のイベントへの市民の注目度と日常の情報に対する注目度の差が顕著にあらわれている。近年草津市では、くさつシティアリーナが女子バレーボールのプロリーグであるSVリーグの東レアローズのホームアリーナとなったことや、関西最大級の設備を有する市立プールの新設、2026年度から滋賀県で初めてJ3に昇格したレイラック滋賀FCの練習拠点があるなど、スポーツ興行の拠点が形成されている。これらの拠点を有効に活用することで、市民らが非日常のプロスポーツにより親しみを持ってもらうことができると考える。上記で示したような非日常のイベントをSNS等で発信し続ければ、国スポ開催時のようにSNSへの注目度も自然と高まり、好循環につながることを期待できる。</p>	<p>広報紙やホームページ、SNS等様々な媒体を活用し、御意見のありました非日常のイベント情報を含め、市民の多様なニーズに応じた運動・スポーツ情報の発信に努めることで、市民の運動やスポーツに対する関心の高まりにつなげていきたいと考えています。</p>
--------------------------------------	---	---

4	<p>(P 6 3、6 4)</p> <p>総合型スポーツクラブ活動の活性化とパラスポーツの推進について、くさつ健・交クラブには、パラスポーツのプログラムがありません。パラスポーツを障害福祉課が担当していることで、障害者を含めたインクルージョンなスポーツ環境が実現されていないと感じています。パラスポーツは、体育館での車椅子競技が難しいなどの課題はあるものの、ボッチャやシッティングバレーなど、障害の有無問わずに誰もが参加できる競技も多々あります。また、草津市民プールは水深の調整が可能であるため、障害者でも利用しやすい環境にあります。パラスポーツのみを単体で推進するだけでなく、健常者と障害者が共にスポーツを行う環境をつくることで、障害者の社会進出につながり、また、障害者への理解の深化にもつながると考えております。</p>	<p>御意見のありました障害者の社会進出や障害者への理解の深化といった共生社会の実現に向けて、健常者と障害者が共にスポーツを行う環境をつくることは重要であると認識しており、くさつ健・交クラブでは、スポーツ吹き矢やディスクオン等、誰もが気軽に取り組めるプログラムも展開されています。</p> <p>また、本市では、その他様々な取組を行っているところであり、例えば、学校教育においては、ボッチャやゴールボールの体験や、パラスポーツ選手による講演会を実施するなど、体験を通じた福祉教育の充実を図っています。</p> <p>障害の有無等に関わらず、全ての市民が運動・スポーツに親しむことのできる機会の確保に向けて、引き続き、各種スポーツ関係団体や市の各部局と連携しながら、各施策を推進していきたいと考えています。</p>
---	---	--

5	<p>(P 6 4)</p> <p>パラスポーツの推進について、令和7年度に障スポが開催され、ハンデのある方のスポーツ振興が加速すると思われたが、今回の第3期草津市スポーツ推進計画をみても、わずか6行（ほぼ5行）で施策展開をする様子が見て取れない。前期である第2期スポーツ推進計画をみると、施策名「(6) 障害者スポーツの推進」となっており、今期の推進計画における施策名「(5) パラスポーツの推進」と比較すると、「障害者→パラ」と表現を変えただけで、ハンデのある方のスポーツ推進を本気で考えず、片手間で、いかに熱意のないものかが伝わってくるような様子になっている。ハンデのある方こそ、スポーツを通じて、より well-being な人生を送る権利を有していると感じており、基本理念である「スポーツと出会い、つながる健幸なまち くさつ」に即した施策が望まれる。ハンデのある方のアンケートなどは記載がなく、その変化が見受けられないのが残念だ。昨年的高校野球において県立岐阜商の横山選手が全国に巻き起こした感動を忘れたのか。この流れを大切に、ハンデのある方が置き去りにならないよう行政には創意工夫に期待している。</p>	<p>御意見のありましたパラスポーツの推進につきましても、本計画のみならず、関連計画であります「第3次草津市障害者計画」においても様々な取組を行っているところであり、例えば、学校教育においては、ボッチャやゴールボールの体験や、パラスポーツ選手による講演会を実施するなど、体験を通じた福祉教育の充実を図っています。</p> <p>また、草津市スポーツ推進委員協議会では、ニュースポーツの出前講座を実施しているほか、草津市体育振興会連絡協議会では、令和8年度に開催する学区対抗スポレク祭において、誰もが気軽に取り組める種目としてモルックの導入を予定しています。</p> <p>障害の有無等に関わらず、全ての市民が運動・スポーツに親しむことのできる機会の確保に向けて、引き続き、各種スポーツ関係団体や市の各部局と連携しながら、各施策を推進していきたいと考えています。</p>
---	--	--

▼原案への反映について

パブリックコメントの実施結果による計画（案）の修正・変更はありません。

お寄せいただいた御意見は、計画に基づく具体的な取り組みにあたっての参考とさせていただきます。